



平成28年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年10月14日

上場会社名 ネオス株式会社
 コード番号 3627 URL <http://www.neoscorp.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 池田 昌史
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役兼執行役員経営管理部長 (氏名) 中野 隆司 TEL (03)5209-1590
 四半期報告書提出予定日 平成27年10月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無

上場取引所 東

四半期決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家、証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年2月期第2四半期の連結業績 (平成27年3月1日～平成27年8月31日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年2月期第2四半期	2,769	0.8	28	—	33	—	43	—
27年2月期第2四半期	2,747	△33.9	△178	—	△168	—	△113	—

(注) 包括利益 28年2月期第2四半期 28百万円 (—%) 27年2月期第2四半期 △111百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年2月期第2四半期	5.15	5.10
27年2月期第2四半期	△13.56	—

27年2月期第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年2月期第2四半期	4,236	2,709	63.4	314.27
27年2月期	4,102	2,683	64.8	312.00

(参考) 自己資本 28年2月期第2四半期 2,684百万円 27年2月期 2,660百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年2月期	—	0.00	—	1.50	1.50
28年2月期	—	0.00	—	—	—
28年2月期(予想)	—	—	—	1.50	1.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成28年2月期の連結業績予想 (平成27年3月1日～平成28年2月29日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,800	8.7	150	—	150	—	100	—	11.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

現在、携帯電話業界は、非常に速いスピードで構造変化が進行しつつあり、短期的な業績動向については変動要素が多いため、当社では、年間ベースでの業績管理に重点を置いた経営管理を強化しています。これらを踏まえ、現在、当社のグループの業績予想については、連結業績に関する年間業績の開示のみとしております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年2月期2Q	8,541,500株	27年2月期	8,526,300株
② 期末自己株式数	28年2月期2Q	一株	27年2月期	一株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年2月期2Q	8,539,204株	27年2月期2Q	8,393,035株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は完了しています。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。

実際の業績等は、業況等の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（自平成27年3月1日 至平成27年8月31日）における日本経済は、引き続き企業収益や雇用・所得環境の改善傾向が続き、景気は緩やかな回復基調にあるものの、依然、中国経済の減速、為替の変動等のグローバルなリスク要因を抱えており、不透明感が拭えない状況にあります。

携帯電話市場においては、iPhoneのシェア拡大とともに通信キャリアの事業展開は、端末に縛られないコンテンツサービスやEC、決済サービス等、総合サービス事業の方向にシフトしつつあります。コンテンツサービス市場においては、グローバルレベルでのアプリ数の増加と競争激化に加え、大規模事業者による品揃え競争や月額固定のサブスクリプションサービスの拡大が進んでおり、独自のコンテンツサービスでの展開はビジネスリスクが増大している状況にあります。

一方で、スマートフォンやタブレット端末の浸透により、企業活動においては、これを前提としたさまざまなニーズが顕在化しつつあり、法人企業におけるスマートフォンサービス関連需要は、拡大傾向にあります。

当社グループでは、このように大きく変動する市場環境に対応すべく、ソリューション事業においては、従来の通信キャリア向けソリューションに加え、サービスプロバイダーや一般法人向けの展開を拡大するなかで、新たな顧客や案件の開拓を積極的に推進しております。また、プロダクト&サービス事業においては、ビジネスコミュニケーションサービス『SMARTアドレス帳』など、増大する法人のスマホ需要に対応したB2Bジャンルでのサービス事業の拡大を図るとともに、B2Cジャンルにおいては、教育分野等、ターゲットが明確で付加価値の高いコンテンツ事業の育成に注力しております。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は2,769,785千円（前年同期比0.8%増）、営業利益は28,652千円（前年同期は営業損失178,324千円）、経常利益は33,589千円（前年同期は経常損失168,587千円）、純利益は43,964千円（前年同期は純損失113,843千円）となりました。

また、当社グループにおいては、新たな事業分野への進出にも積極的に取り組んでおり、IoT（Internet of Things）時代の到来を見据えて、スマートデバイスの企画・開発・製造力をもつ株式会社ジュネシスホールディングスとの提携、また、電子マネー市場の発展を睨んで、株式会社バリューデザインとの業務提携によるスマホ決済サービスの展開、さらには、DMMゲームズとの提携によるゲーム事業への本格的参入等、有望ジャンルを見据えたパートナー戦略のもと、新たな事業分野での展開を積極的に推進しています。

事業別の詳細については以下の通りです。

<ソリューション事業>

当第2四半期連結累計期間におけるソリューション事業の売上高は、1,936,201千円（前年同期比4.7%増）となりました。

ソリューション事業においては、昨年9月の「ソリューション事業本部」の新設等により体制を整え、通信キャリアにおけるプロダクト開発需要の落ち込みを補うべく、サービスプロバイダーや法人向けのサービス開発事業の拡大に注力しております。これらの効果が表れ、ソリューション事業の売上高は前年同期を上回るレベルまで回復しました。

具体的には、サービスプロバイダー向けについては、新規のヘルスケア関連サービス案件の開発や、玩具メーカーである株式会社メガハウスの子ども向けタブレット端末「tap me 2（タップミー2）」のデバイス提供およびアプリストア「Mega Apps」の開発等、法人においては、ANAの国際線予約システムのリニューアル案件や製薬会社のWEBサービス開発等が挙げられます。今後についても、引き続きサービスプロバイダー及び法人案件の維持、拡大によりソリューション事業トータルとしての安定的な成長を迫りまして参ります。

<プロダクト&サービス事業>

当第2四半期連結累計期間におけるプロダクト&サービス事業の売上高は、833,583千円（前年同期比7.2%減）となりました。

プロダクト&サービス事業においては、キャリアの独自端末の縮小に伴い、端末向けのソフトウェアライセンスビジネスが減少しております。また、従来のキャラクターを中心とした有料コンテンツも減少傾向にあり、これらに代わる新たな柱となる新規ビジネスの立ち上げに積極的に取り組んでおります。具体的には、ソリューション事業が中心だったB2Bジャンルにおいて『SMARTアドレス帳』や『neoPass』など法人向けのB2Bサービスの拡大に取り組んでおります。また、B2Cジャンルにおいては、ターゲットが明確で付加価値の高い知育、教育コンテンツに注力しており、新しい柱に育ちつつあります。これに加え、本格的にゲーム市場に参入すべく、DMMゲームズと提携し、オンラインゲーム『モンスター娘のいる日常 オンライン』を共同開発し、12月から配信することが決定しております。

(2) 連結財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は2,928,717千円となり、前連結会計年度末に比べ50,391千円減少いたしました。これは主に受取手形及び売掛金が31,850千円、短期貸付金が50,000千円増加したものの、現金及び預金が244,194千円減少したことによるものです。固定資産につきましては、有形固定資産が10,376千円減少したものの、無形固定資産が67,706千円、投資その他の資産が126,852千円増加したことにより、前連結会計年度末に比べ184,182千円増加し、1,307,858千円となりました。

この結果、総資産は4,236,576千円（前連結会計年度末は4,102,784千円）となり、前連結会計年度末に比べ133,792千円増加いたしました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は1,527,092千円（前連結会計年度末は1,418,832千円）となり、前連結会計年度末に比べ108,260千円増加いたしました。これは主に賞与引当金が135,670千円減少したものの、長期借入金が225,000千円増加したことによるものです。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は2,709,483千円（前連結会計年度末は2,683,952千円）となり、前連結会計年度末に比べ25,531千円増加いたしました。これは主に利益剰余金の増加によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年2月期の連結業績予想につきましては、平成27年4月14日の「平成27年2月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,769,884	1,525,690
受取手形及び売掛金	1,040,143	1,071,993
仕掛品	29,221	41,477
短期貸付金	—	50,000
その他	151,177	251,171
貸倒引当金	△11,318	△11,615
流動資産合計	2,979,108	2,928,717
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	92,800	88,220
器具備品(純額)	59,157	50,491
建設仮勘定	1,199	4,069
有形固定資産合計	153,157	142,781
無形固定資産		
ソフトウェア	251,231	283,705
ソフトウェア仮勘定	171,080	227,908
のれん	41,847	21,405
その他	11,416	10,262
無形固定資産合計	475,575	543,281
投資その他の資産		
投資有価証券	190,243	294,055
関係会社出資金	71,417	68,761
長期貸付金	—	30,000
繰延税金資産	1,061	510
差入保証金	211,184	206,268
その他	49,943	49,705
貸倒引当金	△28,906	△27,506
投資その他の資産合計	494,943	621,795
固定資産合計	1,123,676	1,307,858
資産合計	4,102,784	4,236,576
負債の部		
流動負債		
買掛金	266,958	328,396
1年内返済予定の長期借入金	150,000	150,000
未払法人税等	2,961	11,168
繰延税金負債	2,611	—
賞与引当金	249,302	113,632
ポイント引当金	993	517
その他	233,231	188,777
流動負債合計	906,058	792,493
固定負債		
長期借入金	450,000	675,000
繰延税金負債	15,116	10,497
資産除去債務	44,594	44,944
その他	3,063	4,157
固定負債合計	512,774	734,599
負債合計	1,418,832	1,527,092
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,293,874	1,298,038
資本剰余金	1,283,874	1,288,038
利益剰余金	64,874	96,049
株主資本合計	2,642,622	2,682,127

その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	12,798	7,358
繰延ヘッジ損益	—	△10,440
為替換算調整勘定	4,798	5,290
その他の包括利益累計額合計	17,597	2,208
新株予約権	23,568	25,148
少数株主持分	164	—
純資産合計	2,683,952	2,709,483
負債純資産合計	4,102,784	4,236,576

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年8月31日)
売上高	2,747,380	2,769,785
売上原価	1,981,886	1,951,198
売上総利益	765,493	818,586
販売費及び一般管理費	943,818	789,933
営業利益又は営業損失(△)	△178,324	28,652
営業外収益		
為替差益	1,427	4,590
その他	8,339	5,366
営業外収益合計	9,766	9,956
営業外費用		
支払利息	29	2,246
持分法による投資損失	—	2,721
その他	—	51
営業外費用合計	29	5,019
経常利益又は経常損失(△)	△168,587	33,589
特別利益		
関係会社株式売却益	—	7,315
新株予約権戻入益	14,201	4,956
特別利益合計	14,201	12,272
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△154,386	45,861
法人税、住民税及び事業税	2,923	5,521
法人税等調整額	△42,093	△3,520
法人税等合計	△39,169	2,000
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△115,216	43,861
少数株主損失(△)	△1,372	△103
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△113,843	43,964

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年3月1日 至 平成26年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年3月1日 至 平成27年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△115,216	43,861
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,964	△5,439
繰延ヘッジ損益	—	△10,440
為替換算調整勘定	569	491
その他の包括利益合計	3,533	△15,389
四半期包括利益	△111,683	28,472
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△110,310	28,575
少数株主に係る四半期包括利益	△1,372	△103

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△154,386	45,861
減価償却費	158,651	143,207
のれん償却額	23,301	20,442
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△2,016	△1,103
賞与引当金の増減額(△は減少)	△147,422	△135,669
ポイント引当金の増減額(△は減少)	△2,861	△475
工事損失引当金の増減額(△は減少)	△25,615	—
関係会社株式売却損益(△は益)	—	△7,315
持分法による投資損益(△は益)	—	2,721
売上債権の増減額(△は増加)	193,680	△31,850
たな卸資産の増減額(△は増加)	46,937	△13,062
仕入債務の増減額(△は減少)	△69,087	61,438
その他	△30,164	△187,828
小計	△8,984	△103,633
利息及び配当金の受取額	730	287
利息の支払額	△29	△2,241
法人税等の支払額	△103,296	△2,969
法人税等の還付額	—	53,786
営業活動によるキャッシュ・フロー	△111,579	△54,770
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△39,085	△6,936
無形固定資産の取得による支出	△248,890	△222,413
投資有価証券の取得による支出	—	△112,410
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	—	7,316
貸付けによる支出	—	△80,000
差入保証金の差入による支出	△23,602	△84
差入保証金の回収による収入	—	5,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	△311,578	△409,527
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	—	300,000
長期借入金の返済による支出	—	△75,000
株式の発行による収入	114,080	8,329
リース債務の返済による支出	△382	△1,148
配当金の支払額	△36,550	△12,568
財務活動によるキャッシュ・フロー	77,147	219,612
現金及び現金同等物に係る換算差額	569	491
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△345,440	△244,194
現金及び現金同等物の期首残高	2,072,549	1,769,884
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,727,109	1,525,690

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第2四半期連結累計期間(自平成26年3月1日至平成26年8月31日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成27年3月1日至平成27年8月31日)

当社グループは、情報サービス事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。